伊勢物語
三
伊地知文庫
文庫20
423
3

[illegible]

[illegible]

[illegible]

まし南をもて元のかりて伊勢国乃門を義宿と定給ふ
事世義視と号し世世絶と宣ふ也乃事乃義
西義尚と春し給ふ故小寄小岩宗金と云く仏ゆ
と称ん之に家督と為せ給ふ也乃事ぬ
ゆ為く義弘し世世に義政義視に中和ぬ
世務元い管領職小為く風と海内ゆ振ふ宗金と云し
云名ゆく上乃に家義武士のうて分一云ふ也
勇い世津ゆ小岩細川日野和ゆ義視ら
細川と為く新名付ゆ中に乃国方と為く
義乃中と為り流ゆ義仁乃祀ゆ年中乃
武士文と云く乃ゆ為ゆ事乃武士

ゆ為ゆ義弘ゆ族ゆ
て手矣と携甲冑と祀と
焼失弘民ゆ為ゆ
為ゆ乃ゆ小ゆく
年小我乃文武乃宗金乃方人
義乃為ゆ一陣ゆ乃河乃大内乃山風ゆ祀り
に乃焼家物ゆく為て謀色と出小内乃為ゆ定
為ゆ為ゆ為陣事為ゆく。為小改弘乃家人山名陣乃絶と為
乃味方ゆ祀て義乃文武徳乃馬乃側小つ為ゆ
と為ゆ為ゆ義乃と為ゆ乃月乃為ゆ
陣乃乃為と為ゆ乃為ゆ為ゆ為ゆ為ゆ為ゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やとまり卒塔婆あまたなる小松幻住庵芭蕉翁
ゝを扱ひ代ゝを刻苔をけづりすまして筆をあらく画
し星よ出よく舟をまつ小ぶねかな
けるを人世とゝらふ掛りしかゝ合ねばのちも出て行舟をよれ
ゝむく

笠縫方和

一ゝせ上絶の出ゝ出ゝの涙とゝどりて人里と称んとする小童
方の苦やよ燈ゝ乃ゝゝくゝ乃ゝゝ
向ゝりむうをさたのゝゝ乃ゝ
ゝゝゝたのゝゝゝ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

りよげやもりのよしなどすこしの人ぞ人山紙ぞとりつまり
よこしまもこそなれ山男の事問するとんて指のもと
あくまでかの小出紙い所をて神ぬ指のうらんをとを和こい
ひ宮ありれ山ありせ紙いあくりまを夜服ひしし
りせもきぬ。りえあくあぶまこの及よりけく今を矣
先を指くすとあんか。祇問孔敬の感意ある山乃ふし
べ形ふをひてちり指ふまこそとをぶくらひ行。

連句問答

一とせ祇乃まを嘉乃ひつしふ沙で沙絶をりて畑扉
よ出ぬ乃海づくをみくをを小。絵糸いあ祇くず。沙く波
のりよくくを山方のあくこ沙乃沖よあをび屠

乃雲小乗ふあをこ和りくあづふ乃色。干浮の形ハ清坊りり
祇小あもこ海河の米の玉塩乃家和と波湯とをくく
りくぶり。恰を山出ぶくの祇城と乃津べ。ま米いをく
べき旅ふをりくぎ又海づきを乃ふ乃えて福ぶ乃祇
ををすぶ小形りり妙をみをしを絶くまべを青ハ通
乗り行り祇ふ小こをりて絶ふ雅尾ぶく和海て
乗る小空月乃清光空ふくハ乃くりを三さし金ハ空
光乃てりをひて今小あるかくあやまくをを形くをを
よけくる祇ふぶ乗りは焼とりをぎ礼接すせく小ぶり
とくふを京をくく義行ひまぞきる河馬形をを行て
旅伝く光くまをりもよおくをぷいづ乃人ぞ乗ふんぐ

[illegible]

あまべの百人の歌をたてまつりきるを月の[illegible]神あそびの
龍田の紅葉の[illegible]をもいはるるをいとかしこしとて
紙屋川のほとりに[illegible]

あ[illegible]の文殿の月[illegible]

しらげるを[illegible]べを縫て[illegible]詩のやうにそなへたる
[illegible]をきこえぬ[illegible]
[illegible]

宗祇

[illegible]

秋のくれの潘の月[illegible]

[illegible]人所をけして[illegible]人の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

よ生人の云ふ山家よりの天狗乃大黒天なり其像教大師比叡山
開基乃時福神よ祈願し給ふ事なり我比叡山ひとひらさく
仏法流布更法華乃祈願おこたしこゝに法法と行せん
と誓ひ衣食住ともに念て安穏を祈願比叡山鎮護
給ふ乃徴を見せ給ひ丹誠をあらはして給ふ
時に三宝福神如来出現する所渭大黒天毘沙門
弁才天合祥乃一像也大師ようひ給ひ像をうつ
しうつんと思時三祥同じ形像よりさきに給ふ
ゆへ一解蔵十ゐ宝の家よりもなを代宝乃けんぞくよりて
自ら最小蔵の字と号し宝ふさへ又信乃宝開れ男なりし
常ひらく給ふ事をこの比武文の表れ出ぐまぐのそさ

よ伊のごとく起りく門ようの水ちさそうさ乃
里様ひとして深き小人乃ひ小ご所をりりんと
ろ陽へ投入遠ひ海ひ性とこ所ひ能海利級をり拝少や
ひ乃ひ男教千人平ひ
りしあつひ海りうし世て方くくれ教んひねり
うあしみひふまあうあまあ悪乃ひ比乃うあひね法
日伯ひと同事ひ乃ひ包ひ同代乃伊りしひ新へうり
ままを包とひうきうやく華ひのようを三ひ包ようを行
とうひ伊ひてうけうん推意しけるや食換乃ようひ行ひ
性報の教ひ元ひとひ世代ひ法ひてを解てみのく
をとうく小美食世涙涙とうひ和七年わりもひ伊ようよ編

主人しとの物用代に祈り玉堂まとうまかやわらとこそ
乃祇園小酒て待ぶを宝あらと代出わとうまとうたん
ある要用代性愛ちんの姫ハ三人乃美おはり二人色うく
尊大ふ新美り獨ハ眼大ふ恢いまう男今ま人容色さ
んごん乃如のまを胸新ハ宮ふ小みえぐさ人物ぶあり
していふ亂十ふ事我を信ぶうの偽ふふりて福
とけんぐふおせをを形祇乃禍とうん為ふ用しくけん
ぐふ苦をを形とを乃をうせ行り要乃わまり色為ふ
祈文ふ無乃下為ふあるぐ要ふ涙ぐしと宮ふ下ふ美見
ふり為て亂十ふとを出ハ物者ふ信する西乃祇わりや
とふを為乃福祇と為ふ自清ふう乃信佛とう人色う

用代をとおすふ美ふ人ふ
十ふ信佛ふ涙わうふ感じ
うこそう富業乃家とふつ
洋ふ祇南ふを乃形をに新
物文ふうんぐりふふ世人ふ
ふ形て形ひみちうう何ハ形と
為門ふく寄とをふつうしを
菊話為述

文月素晴ふ人の蒲とうんふ海ふりけり伝説ふあり
ふてうまハ勢ふ乃ふを蒲とふに祇乃今ハ引ふく文
ふ出乃為ふ為ふ雅用乃形乃歳白川乃祇をとはを

ゆいやう詠りうりう〳〵俳諧〳〵てるく
雨をひげ〳〵月うけげ西よ二見ヶ浦
夢ゐ〳〵で白髪に月九番の人ふきけく突き弓〳〵我勿〳〵
我そづ〳〵ぞ〳〵ぞ〳〵乃歌をあづかてそいくさびこ場〳〵さ
神ゐいわりをまを蓋猫乃
名月乗おかつ〳〵ふくけをあさ乃猫河そこそち
とゐ我ぬ〳〵ぞ〳〵そけ〳〵ぞ村西ちち河を〳〵人家初んとい
うさ〳〵ぞ〳〵名小一樹乃雲下に西風どりすち小場行り蓋
杉とりさ小ちつく西を浸行ふ〳〵いひ指ぞ小行ぬ〳〵ホ
初祖洗小芦乃葉を後ゐ〳〵そ水と海〳〵〳〵ちつく〳〵さ
利ゐ乃る新石生さ〳〵さ〳〵ひちまてくいづ〳〵乃〳〵そ〳〵ほか

くらべ〳〵あるべきよしなきこと

怪異

越後の国小千谷の在に法華宗和泉坊と云ふ僧あり
[illegible]
[illegible]
[illegible]

ぬいさ養よんてあてぐんと。家を離して。ぬまつび羅ね
明くるあさ。連れきた人。晨小乞て。月まぶ。今切ふと。
くて。月ふさ女乃。着無よてふ。ふ。軒名あ。て。枕下ふん
ゆ。雅。。夜中と。起ふ。聞ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
戸。雪ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。

治計割心

老の人。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。

ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。

あつらへる小門目ど敷て掃と入る物まで八一生に能あつく
寄わとけ〳〵ぞ勢ゆ〳〵して又乃掃ゆくんの笑ふ〳〵びふ
ぐ〳〵蔭陽の蔭と乃ゆ茶乃食うすけまで八世茶小刈て自
然春ゆ楽と玉州〳〵ゆ紙い心痛して但敷と
〳〵ぐ〳〵出ゆ〳〵と乃し呼げゆ忍腹とと〳〵ゆ刈まさけて空
ゆ〳〵ゆ代ゆまて〳〵ゆ面と〳〵ゆまで八白さ物ゆ打数百年なり。笑ゆの
数中ゆ〳〵ぞ〳〵ゆまて〳〵ゆ骨ゆまでゆ乳汁小毒ゆ〳〵日ゆ〳〵乳汁
ゆ〳〵ゆ小ゆ一まゆ母子ゆ五夫〳〵ゆ寄〳〵ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ凝て痛
と〳〵ゆ〳〵ゆ命と〳〵ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ